



平成5年度指定 高指第74号

# (故) 高瀬 竜一

【雅号】 竜一 りゅういち

生年／昭和3年 指定技術名／漆器・蒔絵



さびえせんかもんまるぼん

## 錆絵仙果文丸盆

仙果と呼ばれ、縁起の良い果物である桃・蕃柘榴（ばんざくろ）をモチーフにした丸盆である。錆絵により高上げされた桃の白、柘榴の紅が好対照を描き、確かな存在感を与えており、背景の市松模様は、画面に奥行きを与え、果実の凜とした佇まいをさらに強調している。玉石（蠟石）や厚貝、蒔絵を施すなど構成力や技の奥深さを感じさせる。

平成8年作

素材・技法／木（朴材）・錆絵

寸法／高さ2.3cm×幅33.5cm×奥行33.5cm

### 〔表彰・受賞歴〕

- 昭和45年 日本伝統工芸展初入選
- 平成 6年 富山県中小企業団体中央会表彰（卓越技術者）
- 平成 7年 伝統的工芸品産業功労者表彰（中部通産局長）
- 平成10年 高岡市市民功労者表彰
- 平成15年 富山県功労表彰
- 平成18年 卓越した技能者（現代の名工）表彰
- 平成20年 黄綬褒章

### 〔経歴〕

- 昭和21年 父直（想風）に師事し漆芸加飾を習得
- 昭和44年 県の推薦で伝統工芸技術伝承者研修会金沢会場にて受講（3ヶ月間）
- 昭和49年 社団法人日本工芸会正会員認定
- 昭和52年 高岡市展審査員（以後、7回務める）
- 昭和60年 日本文化財漆協会正会員
- 昭和61年 高岡市伝統工芸産業技術者養成スクール講師（～平成17年）
- 平成元年 名古屋外堀公館（名古屋市迎賓館）貴賓室正面の漆壁画四面の加飾を担当
- 平成 4年 富山県美術工芸作家連盟副委員長 木舟町の御車山（銚留・胡蝶の新調）に、塗りと金箔押し仕上を担当
- 平成 6年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
- 平成20年 高岡市伝統的工芸品技術・技法の継承者育成事業講師